

第二九二回俳都松山俳句ポスト

第二九二回開函

「渋柿」主宰

渡邊

孤鷺

選

特選三句

虫の音に紡ぐ句ごころ伊予の旅

福岡県福岡市

山口

裕子

ホ句をもて俳都に秋を探す旅

兵庫県神戸市

影山

里美

ボンジュール萬翠荘に秋の声

愛媛県松山市

片岡

綏典

入選二十句

(市外)

くつろぎの旅の足湯や虫時雨

高知県高知市 和田 和子

伊予の秋万葉人へ夢馳せり

奈良県香芝市 山下 純子

旅人となるマフラーを巻き直し

岐阜県安八郡神戸町 森 瑞穂

伊予どこも発句のまほら花芙蓉

福岡県糸島市 宮脇 睦子

別れ蚊や子規の勉強部屋三畳

大阪府四條畷市 平井 芙美子

秋風や俳都の路地の骨董屋

高知県須崎市 徳永 逸夫

俳聖の旧居訪ひ得し子規忌かな

兵庫県川西市 仙波 照子

湯上がりの草履や露の石畳

千葉県流山市 白井飛露

ここがかの道後温泉の町秋簾

大阪府守口市 下橋潤子

空澄むや上人像は前かがみ

山口県周南市 九内千沙

渦一つ水尾が消しゆく瀬戸の秋

愛知県半田市 稲葉京閑

空リフト小春をのせて登り来る

東京都世田谷区 稲田恵理子

糸瓜棚作りて子規を偲ぶ町

兵庫県西宮市 有本美砂子

(市内)

银杏散る上人堂の箒目に

愛媛県松山市 八木重明

亡き祖父が興じた俳句の良さを知る

愛媛県松山市 二宮一菜

天高しガイド奉仕の二十年

愛媛県松山市 十亀 義則

一列の八町八体大神輿

愛媛県松山市 津野 久美

出で湯の窓紅葉ゆったりと色づけり

愛媛県松山市 近藤 順子

(十五歳以下)

浴衣着て後姿はもう大人

埼玉県本庄市 清水 菜央

これからがつばめが帰る風の時期

岐阜県大垣市 近藤 為希

(伊予灘ものがたり賞)

列車降りコスモス写す伊予の旅

高知県宿毛市 下村 愛子

投句総数	二、〇六五句
市外	一、五四九句
市内	五一六句
投句者総数	一、一三二人
市外	九二九人
市内	二〇三人

開函日

平成三十年十一月三十日